

# 農作物病害虫発生現況情報（6月）キャベツ編

## 1 コナガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多く推移した（図1）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年並に推移した（図2）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年より少なく推移した（図3）。
- (4) 6月中旬の巡回調査では、産卵、幼虫の発生は共に確認されなかった（産卵圃場率平年20.4%、幼虫発生圃場率平年26.9%）（図4、5）。

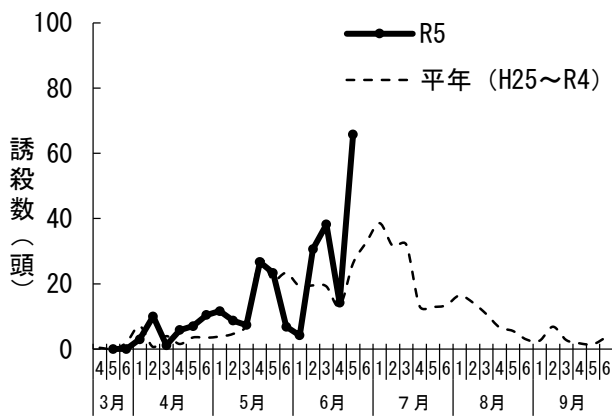


図1 基準圃場（北上市成田）におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況

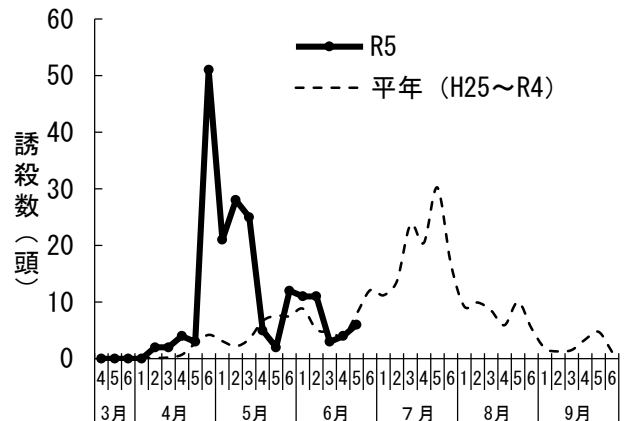
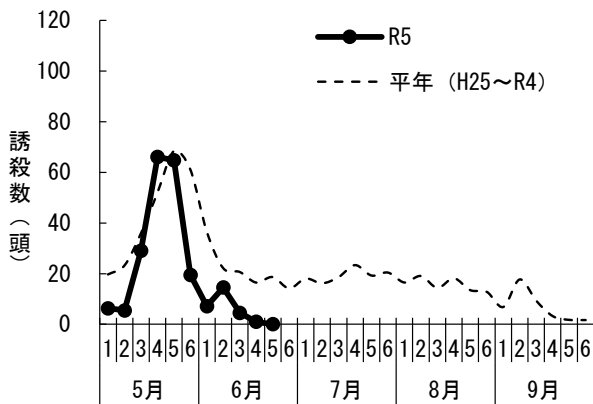


図2 軽米町におけるコナガのフェロモントラップ誘殺状況



## 2 ヨトウガ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺は、6月第1半旬に確認された（図6）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺は、主に6月上旬に確認された（図7）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺は、6月第1半旬に多く確認された（図8）。
- (4) 6月中旬の巡回調査では、産卵圃場率は30.0%（平年33.3%）であり、平年並だった（図9）。

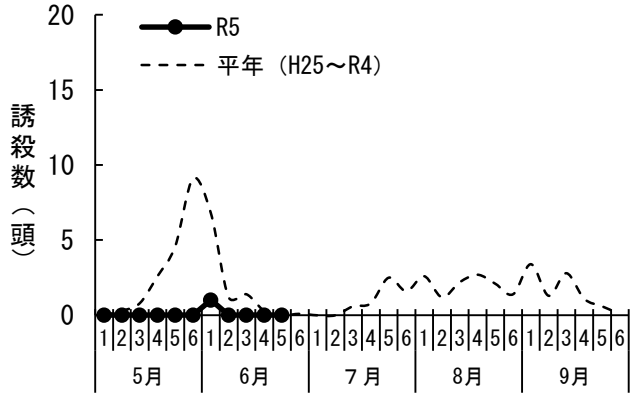


図6 基準圃場（北上市成田）におけるヨトウガのフェロモントラップ誘殺状況

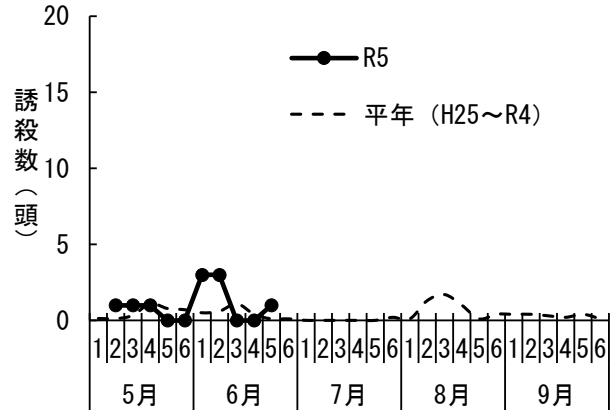


図7 軽米町におけるヨトウガのフェロモントラップ誘殺状況

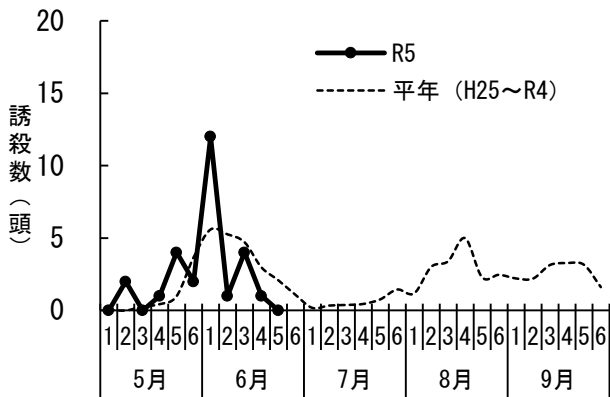


図8 岩手町におけるヨトウガのフェロモントラップ誘殺状況

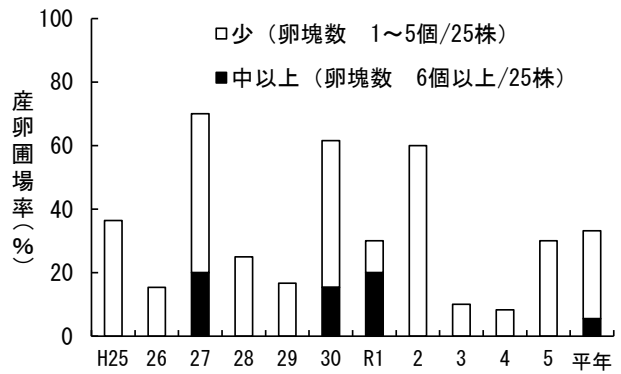


図9 ヨトウガ産卵圃場率の年次推移（6月中旬）

### 3 タマナギンウワバ

- (1) 基準圃場（北上市成田）におけるフェロモントラップへの誘殺数は、平年より多く推移した（図10）。
- (2) 軽米町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、5月第6半旬にピークが見られ、6月第1半旬以降は平年並みに推移した（図11）。
- (3) 岩手町におけるフェロモントラップへの誘殺数は、6月第2半旬にピークが見られた（図12）。
- (4) 6月中旬の巡回調査では、産卵圃場率は50.0%（平年51.5%）で平年並、幼虫の発生圃場率は50.0%（平年24.7%）で、より多かった（図13、14）。

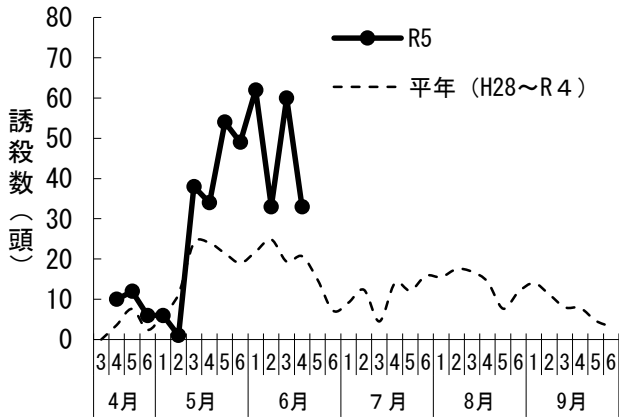


図10 基準圃場（北上市成田）におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況

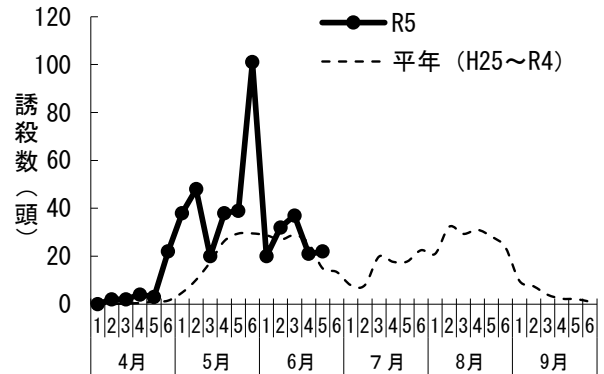


図11 軽米町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況

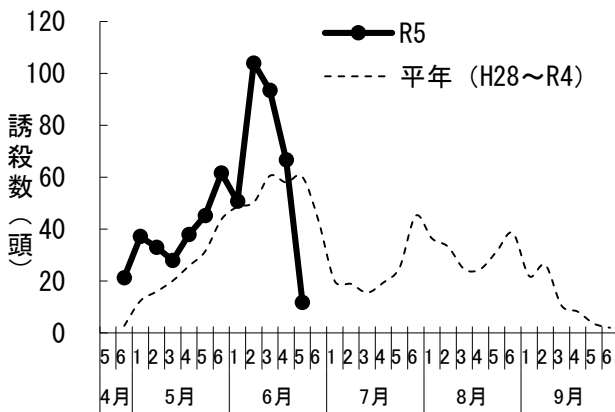


図12 岩手町におけるタマナギンウワバのフェロモントラップ誘殺状況

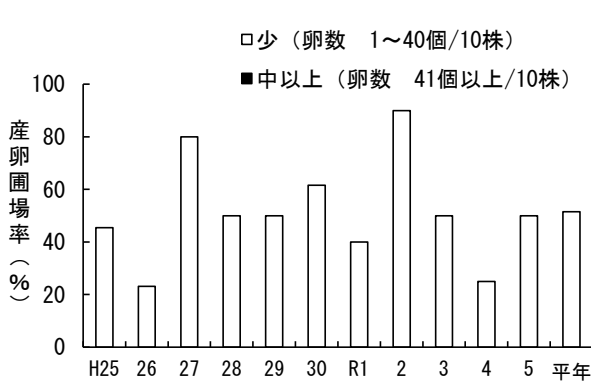


図13 タマナギンウワバ産卵圃場率の年次推移（6月中旬）

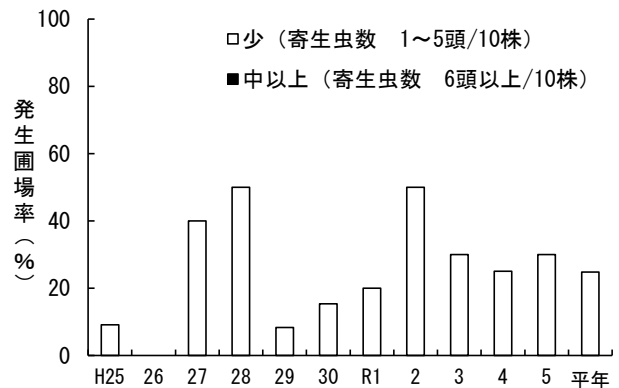


図14 タマナギンウワバ幼虫発生圃場率の年次推移（6月中旬）

#### 4 モンシロチョウ

(1) 6月中旬の巡回調査では、幼虫の発生は確認されなかった（平年4.3%）（図15）。

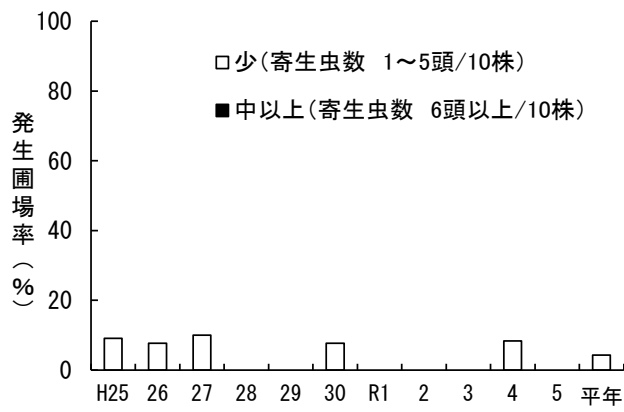


図15 モンシロチョウ幼虫発生圃場率の年次推移  
(6月中旬)